

## 【応募用紙】

### 1 応募者概要

氏名または団体名	(ふりがな: ) なか区民クラブ:バラ教室部会		
代表者の役職・氏名 (団体の場合)	(ふりがな: ) (役職)会長 (氏名)竹内 勲	会員数 (団体の場合)	(令和元年 11 月現在)15 名
ホームページアドレス		活動開始年月	平成 28 年 10 月
活動地域 (複数選択可)	1 横浜市 ( 中 ) 区                                    2 横浜市全域 3 その他( )		
活動分野 (複数選択可)	1 川・海・水                                    2 緑・樹林                                    3 農業 4 3R    5 環境教育・学習                                    6 生物多様性 7 地球温暖化対策                                    8 その他( )		
活動の目的やねらい	農薬による人体や生態系への影響を考慮したバラの無農薬・無肥料栽培の実証		
過去に受けた表彰および受賞年度	(例)横浜□□賞(平成○年度)		

### 2 最近3年間の主な活動

	活動・取組・イベント等の名称 発行した印刷物等の名称	参加人数、 発行部数等	詳細内容
平成 29 年 度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成 28 年 10 月バラ部会活動立上げ (なか区民クラブの4部会の一つ)</li> <li>・バラ教室開催</li> <li>・バラ植栽</li> <li>・維持管理活動</li> <li>・都市大と連携したバラ植栽</li> </ul>	15 名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・元町百段公園の一角にバラ植栽地を確保 (公園愛護会設置) 詳細添付別紙ご参照 参加者平均10から15名 座学30分 実習1時間半</li> <li>・毎月一回 講師:横浜ばら会理事長</li> <li>・28, 29 年 12 月耐病性に強いバラ品種 45 株を厳選・植栽</li> <li>・毎週一回実施</li> <li>・12 月 23 日東京都市大バラ 10 株植栽</li> </ul>
平成 30 年 度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・バラ教室開催</li> <li>・維持管理と観察活動</li> <li>・タウンニュース取材受入</li> <li>・都市大との交流会</li> </ul>	15 名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・バラ教室の継続実施 (毎月第1日曜) : レクチャーと現場実践</li> <li>・昨年度から継続して、毎週火曜日実施</li> <li>・5 月中旬タウンニュース掲載の取材対応 5 月 31 日付ニュースに記事掲載</li> <li>・7 月 7 日バラ教室にて東京都市大との交流会を開催 それぞれに取組み方を発表、意見交換を実施</li> </ul>
令和 元	<ul style="list-style-type: none"> <li>・バラ教室開催</li> <li>・維持管理と観察活動</li> <li>・バラ苗の増殖</li> </ul>	15 名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・バラ教室の継続実施</li> <li>・維持管理と観察活動の継続実施</li> <li>・12 月に 10 株増殖予定</li> </ul>

年 度			
--------	--	--	--

### 3 地域との関わり

	活動・取組等の名称	詳細内容
自治会・町内会との関わり		
学校との関わり	東京都市大学環境学部 環境創生学科 田中研究室	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成 24 年 5 月 27 日、“無農薬バラ栽培”をテーマに田中教授に講演をお願いしたことが契機</li> <li>その後、東京都市大キャンパスを巡ねバラによるフェンス緑化を視察</li> <li>更に、平成 29 年度から元町百段公園において、東京都市大が独自に選考したバラ苗 10 株を植栽、無農薬・無肥料によるバラ栽培研究のための観察活動や維持管理活動を実施中</li> </ul>
他の市民団体との関わり		
企業等との関わり	バラ事業を手掛ける大手企業	<ul style="list-style-type: none"> <li>バラ苗など育成・販売する大手企業と連携し、無農薬栽培の実現を目指した情報交換や、成果の発信方法の検討などに取組み中</li> <li>企業は、“サカタのタネ”、“京成バラ園”の 2 社 両企業とも無農薬栽培のバラ品種の開発に取り組んでおり、情報交換や維持管理手法などの交流機会を検討中</li> </ul>
行政との関わり	中土木事務所、環境創造局公園緑地維持課	無農薬バラ栽培の植栽候補地として、元町百段公園を統括する横浜市 中土木事務所と交渉し、公園愛護会を設置することと、バラ栽培のエリアを限定することを条件に了解を取得した。植栽できるエリアは 120 m <sup>2</sup> である。 また、公園愛護会として、助成金年間2万円を受け、主に公園全般の清掃、除草などに維持管理に用いている。
その他、環境以外の分野との関わり		

#### 4 団体の発足経緯／活動を始めたきっかけ、動機

※立ち上げた主体、どのようにして活動に携わる人が増えてきたのか等も合わせ、具体的に記入してください。

※個人の方は、活動を始めたきっかけについて記入してください。

- ・農薬は人体と生態系に対して危険性があり、人体へ影響を及ぼしたという例は数多くある。
- ・横浜市は公共緑地では農薬・化学肥料の使用極力ひかえるよう唱っている。  
しかしその実現には相当の乖離がある。例えば、一部の大規模公園のバラ栽培には未だに農薬使用が慣例化しており、是正されていないように見受けられる。
- ・特にバラは、横浜の市花であり、開港と共に横浜から全国に波及していった発祥の地である。
- ・更に、戦前には開港記念祭での「バラ行進」やバラを通して米国シアトル・ポートランドなどとの交流などがあった歴史的な花である。(市史通信参照)
- ・そこで、このバラ栽培を更に広めるためには、市の環境宣言に沿い無農薬栽培が可能な栽培手法を実証することが肝要であると判断し、なか区民クラブにバラ教室部会を立上げ取組むことにした次第である。

#### 5 今までの活動

##### 活動の目標・ねらいに対する成果

##### 1.目標・狙い

- ・海外では農薬使用が強く規制されているが、このように生物多様性の保全になる環境にやさしく、安心・安全に栽培することができる育成方法を実証することが狙い。
- ・観察・実証データを集約の上、まず横浜市に提案して公園緑地への植栽を広めて貰うことが当面の課題
- ・併せて、そのマニュアル化を進め、一般家庭への発信を目指す。

##### 2.活動の現況と成果

- ・バラ栽培の実験は、街区公園である“元町百段公園”の一角を活用して、平成 28,29 年に耐病性や病害虫に強い品種の苗 45 株を厳選して、その植栽と 3 年間の経過観察を通して実証データの集積活動を推進中。
- ・これまでの経過は概ね順調、引き続き観察と維持を進め成果を確認、提案に備える。
- ・29 年度後半から、東京都市大学田中研究室がバラ苗 10 株を植栽すると共に、経過観察・研究活動を進めている。

##### 生物多様性に関する取組（生物多様性特別賞の選考の参考とします）

※取組の中で、生物多様性に関するものを記入してください。

（1 ページ「生物多様性特別賞について」に事例を記載しています。）

東京都市大田中研究室が元町百段公園で行っている生物多様性に関する具体的な取組みは、無肥料・無農薬栽培巣箱の設置である。

化成肥料や農薬による化学物質の利用は、最終的には環境中への流出につながり、水、大気、土壌の汚染を引き起こす。特に農薬は環境流出量が最も多い化学物質といえる。化学物質の流出は生物多様性が失われてしまう。

このことから元町百段公園では、バラ栽培で当たり前で使用されている肥料や農薬を使用しないことによって生物多様性に配慮している。

また、無農薬によって発生する害虫への対策として、巣箱を設置し、害虫駆除に活用することで生物多様性保全に寄与している。(巣箱はシジュウガラなどの小鳥用の木製箱をさくらの木の枝に設置している。)

## 6 今後の活動方針

※次年度以降の目標や、活動継続のためにどう引き継いでいくのかも含めて具体的に記入してください。

- ・無農薬栽培の成果を裏付けるための観察データを集積するための期間として3年を考慮しており、今後2年間の諸点を基本として現在の活動を継続する方針である。
  - ① これまで植栽したバラの維持管理活動の継続：毎週一回、  
即ち、季節に応じた適切な剪定、有機肥料の堆肥、土壌改良、害虫の物理的駆除、除草、など
  - ② 無農薬栽培に取り組む団体・研究者等との交流・情報交換
  - ③ 生産者である企業との連携・情報交換
  - ④ 東京都市大との協働活動  
東京都市大の学生は、毎月第1日曜に開催するバラ教室に参加して一緒に学習すると共に、毎週火曜に開催する現地実習作業も学習の成果を活かした形で維持管理をはじめ、観察データに基づく成果の取りまとめまで一貫した協働活動を推進していく方針である。

## 7 審査にあたり、最も注目してもらいたい取組、PRポイント

※最も注目してもらいたい／評価してもらいたい取組や、これまでの項目に当てはまらないPRポイントについて具体的に記入してください。

- ①農薬規制が厳しい世界の動向と、農薬大国である我が国の現状
  - ・我が国の農薬依存度は、中国に次いで高い状況、しかも中国と日本は突出している。
  - ・バラ栽培の先進国では、農薬・化学肥料を使わない栽培を奨励し、表彰する制度まで制定するなど徹底しており乖離が激しい。
  - ・このギャップの大きさについては東京都市大が研究テーマにしており、その解明に期待している。
- ②生物多様性と農薬問題の関連
  - ・農薬の使用が生物多様性環境を破壊していることは既に論じられていることだが、こうした視点での政策課題の扱いが大いに気になるところである。
  - ・本件は、東京都市大田中教授の専門領域であるので、今後の活動の中でご指導願う予定である。
- ③前項の2点を具現化する手段として、東京都市大との協働活動と、大手企業との連携活動を鋭意推進中  
概略は「地域との関わり」記載内容を参照方



# なか区民クラブ

◆ 設立：平成21年6月（前身は中区民協議会 昭和49年発足）

◆ 目的：市民の声を広聴し行政活動に反映すること  
市民活動の草分け的存在。

◆ メンバー： 40名 主な年代：60代

自分たちの住む町は自分たちの手で良くすることが基本理念  
現在取組んでいる活動は、中区ボランティア  
連絡会との共催と、なか区民活動センター及び  
中区社会福祉協議会の支援による。



# 活動概要

## 運営委員会



### ちよいボラ部会

山下公園本通り  
沿道の清掃活動



### 小さなおもてなし部会

旅行者への行先案内・  
観光情報の提供など



### バラ教室部会

環境に優しい無農薬栽  
培の普及を目指したバ  
ラ教室の開催など



### 楽しく歩こう部会



# 活動の様子①『ちよいボラ部会』



- ☆山下公園本通り沿い歩道清掃活動
- ☆毎月第3土曜日開催(平成21年発足)
- ☆中区ボランティア連絡会及び中区社会福祉協議会との共催
- ☆ボランティア50名の協力で運営



## 活動の様子② 小さなおもてなし部会



- ☆行先に迷う外来者への行先案内
- ☆情報文化センター入口付近
- ☆毎月6回開催(平成27年発足)
- ☆中区ボランティア連絡会との共催
- ☆会員30名



# 活動の様子③ バラ教室部会

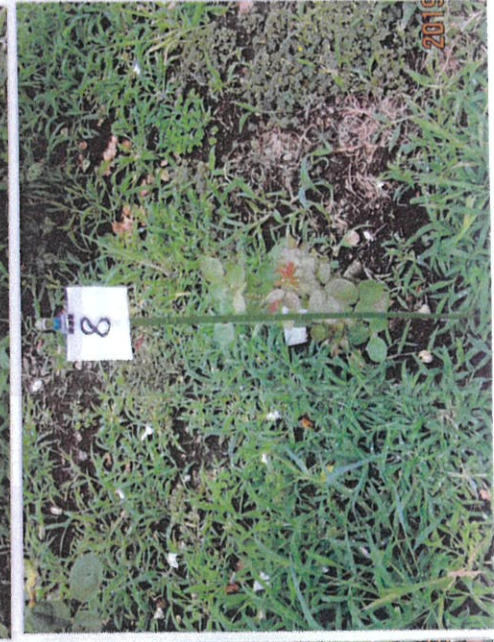
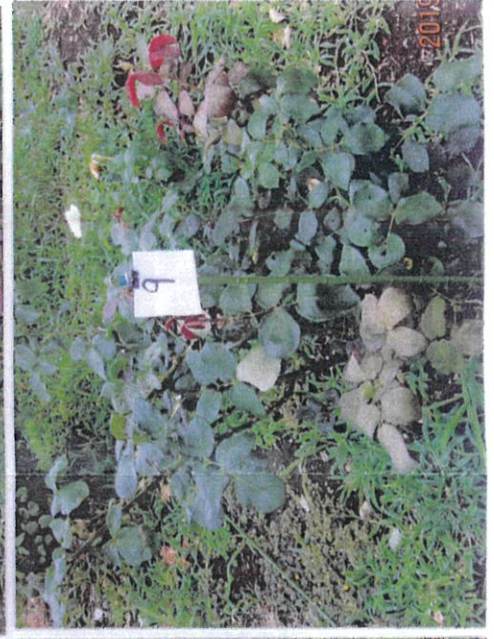
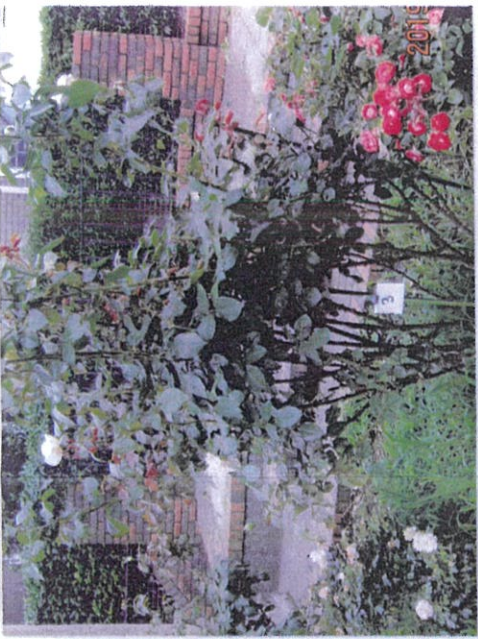
- ☆無農薬バラ栽培手法の確立と普及を目指した活動
- ☆毎月第1日曜日開催(平成29年発足)
- ☆元町百段公園でバラ栽培推進中
- ☆会員11名



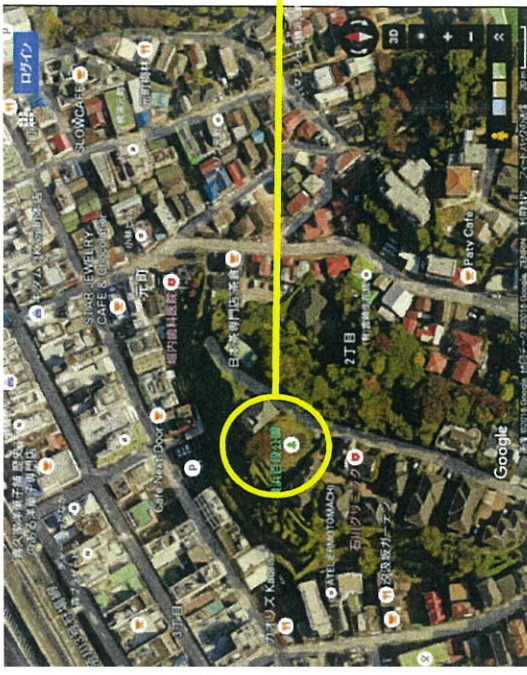




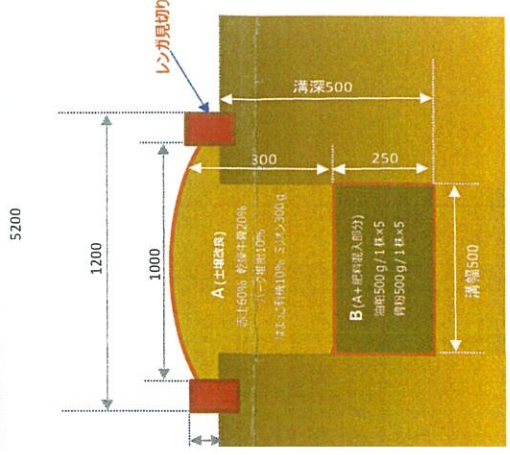
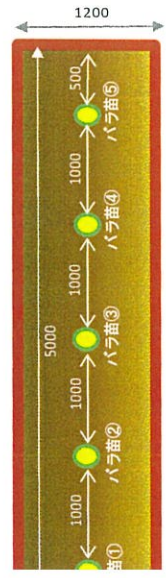








→ 土壌改良土の入替(パーク堆肥+乾燥牛糞+ぼんぼり堆肥+ミカド) + 肥料(油粕・骨粉)



±0〜-550

1.375m (5m×0.5m×0.55m)  
 0.825m<sup>2</sup> → 51ニツト = 4.125m<sup>3</sup>  
 20%...0.275m<sup>2</sup> → 51ニツト = 1.375m<sup>3</sup>  
 肥10%...0.1375m<sup>2</sup> → 51ニツト = 0.6875m<sup>3</sup>  
 300g → 51ニツト = 15000g

250〜500のAの土壌改良部分に混入  
 00g/1株...5株×500g = 2500g → 51ニツト = 12500g  
 00g/1株...5株×500g = 2500g → 51ニツト = 12500g





横浜市

← アドバイ  
 横浜市  
 アンケ  
 管理不  
 専門家  
 制

市では築40年を超える分譲マンションの管理組合約400カ所に毎年アンケートを送付している



就任のあいさべる佐藤新理

## 元町百段公園 愛護会

# 無農薬でバラ栽培に奮闘

### 30株を週2回手入れ



花を咲かせる無農薬のバラと愛護会メンバーら

農薬を使用して育てるのが一般的といわれているが、百段公園で地域住民らから

無農薬のバラ栽培に挑戦している。公園愛護会のメンバーが主体となりサカタのタネの支援・協力を得て2016年12月に5株を植栽。翌年12月に25株を追加し現在は30株に。品種はアイスバーグやローズウララ、新雪など、無農薬のため耐病性の強い品種を選んでいる。

愛護会メンバーの岡田實さん(79)は「元町をはじめ山手はバラの似合うまち」と話し、緑のまちづくりの一環と趣旨を説明する。

山手の洋館などのバラを監修する横浜ばら会の石川彌之助理事長(81)が顧問となり栽培方法を指導。メンバーは、週2回は公園を訪れ害虫を捕殺するなど念入りに入手される。また、この取り組みを支援する東京都大学環境学部の田中章教授は、自身のこれまでの研究からバラ栽培に重要なのは「水と日当たりと風通し」と指摘。過度な農薬散布に警鐘を鳴らす。

公園愛護会の竹内勲会長(74)は「しっかりとバラを咲かせて来園者を増やしたい。無農薬バラを他の公園にも広げていきたい」と期待する。

専門家に無料で相談できるチャンス!  
**無料税務相談会**  
 6/7 6/21  
 7/5 7/19  
 13:30~16:10 要予約  
 毎月第1・第3木曜日

毎月1・3  
**相続・贈与の**  
**東京地方税理士**  
 東京地方税理士会横浜中央支部では、毎月第1・3木曜日(祝日など除く)午後13時～16時の無料相談会を実施している。

地元の事情をよく知る身近な支部所属の税理士が、相続や贈与の悩みに親身に応じる。無料相談のため申告書の作成や具



チョットだけボランティアプロジェクト

# 『小さなおもてなし運動』 参加者募集

主催：なか区民クラブ 中区ボランティア連絡会／なか区民活動センター



2015年10月『小さなおもてなし運動』はスタートしました。

この運動は、観光都市横浜中区へお出でになる多くの観光客へのおもてなしとして道案内やイベント情報など心を入れて提供するボランティア活動です。

2020年の東京五輪に向け、益々増加する観光客へのおもてなし運動として完成させるため、皆様のご参加をお願い致します。



## <活動内容>

第1土曜日、第2・3日曜日

第2・4火曜日

午前10時～12時までの2時間

みなとみらい線日本大通り駅 3番出口  
横浜情報文化センター入口のバス停付近

## <ミーティング>

産業貿易センター4階

中区社会福祉協議会団体交流室

## 中区道案内ボランティアガイド養成講座

開催日時	講習内容	講師	場所
平成29年6月10日(土) 10:00~12:00	・中区の歴史謎を探るシリーズ1 ・英会話学習	多根 雄一氏 ダニエル・テフェラー氏	なか区民活動センター
平成29年7月8日(土) 10:00~12:00	・山手西洋館巡り	竹内 勲氏	なか区民活動センター
平成29年8月12日(土) 10:00~12:00	・横浜とバラ ・英会話学習	石川 彌之助氏 ダニエル・テフェラー氏	なか区民活動センター

※養成講座は、9月以降も原則として毎月1回講演と英会話学習セットで開催します。

\*\*\*\*\*彌\*\*\*\*\*

募集人数：20名（年齢・お住まいなど問いません。ご自由に参加できます。）

お申し込み方法：お名前・連絡先

お申し込み先：中区民活動センター 045-224-8138

申込フォーム：<https://www.folklore-yokohama.com/> 小さなおもてなし運動-プロジェクト

協力団体：中区地域振興課／横浜高速鉄道株式会社／情報文化センター／  
社会福祉法人 中区社会福祉協議会